

地域のみな様と、私たちがむすぶ広報誌



京都中部総合医療センター

Kyoto Chubu Medical Center

旧：公立南丹病院



「南丹病院」記念碑碑文
 「南丹病院」は昭和十一年、
 医療過疎に苦しむ先人達の
 「地域に病障を」という熱い思い
 と血の滲むような努力によって
 開設されました。
 その思いを引き継ぐため
 当時の表れを記念碑として
 掲げています。



今、病院の左右の門柱に新しい病院名と80余年の歴史を刻んだ「南丹病院」の標札が並んで掲げられています。私たちは地域医療にかけた先人達の熱い思いを引き継ぎつつ、今後も地域医療の拠点を守り、発展させるべく努力を続けて参ります。

国民健康保険南丹病院組合副管理者兼事務局長 川野 一男 かわの かずお

臨床研修指定病院 地域がん診療病院 救急告示病院
 日本医療機能評価機構認定病院 へき地医療拠点病院
 第二種感染症指定医療機関 地域周産期母子医療センター
 京都府地域リハビリテーション支援センター エイズ拠点病院
 京都府難病医療協力病院 地域災害医療センター
 DMAT指定医療機関 認知症疾患医療センター

京都中部総合医療センター

〒629-0197 京都府南丹市八木町八木上野 25 番地
 TEL 0771-42-2510 (代) FAX 0771-42-2096

<http://www.kyoto-chubumedc.or.jp>





病院の理念

地域の拠点病院として、患者さん中心の良質な医療を行い、地域に愛され信頼される病院を目指す。

患者さんの権利と責務

私たちは患者さんの権利を尊重し、十分な説明と合意に基づいた医療を行います。

1. 説明を受ける権利
2. 治療を選択する権利
3. 情報を知る権利
4. 個人情報の保護を受ける権利
5. 自分の健康情報を正確に提供する責務
6. 説明を理解するまで問う責務
7. 病院での規則に従う責務

2017.7

Vol.35

夏号

CONTENTS

- 院長挨拶 ①
- 平成28年度
患者満足度調査アンケート ②
- がん診療の取り組み
「81年目の初心」 ③
 - がん相談支援センター ③
 - 薬剤部の役割 ④
 - がん登録とは ④
- 褥瘡対策チームの紹介 ⑤
- 感染防止対策チーム(ICT)の紹介 ⑤
- 公立南丹看護専門学校 ⑥
- 働き始めて ⑦
- 看護師として働き始めて ⑧
- 看護職就職・
就学合同フェア2017に参加して ⑧
- 近隣の連携医療機関の先生方 ⑨
 - やまざき眼科園部クリニック
 - 浦田歯科医院
- 熱中症予防と
暑さ指数(WBGT)の豆知識 ⑩
- 救急診療について ⑩
- 平成29年度 オープンキャンパス・
学校見学会のお知らせ
- 看護師・助産師募集
- 編集後記

祇園囃子に誘われて

院長 たつみ てつや 辰巳 哲也

今年もまた美しい新緑の季節が訪れ、5月に入るとまるで夏日のような蒸し暑い日が続き、やはり世界で地球温暖化は進んでいるのかと感じました。6月の梅雨の季節が過ぎると、暑い夏がやってきます。7月に入ると京都では祇園祭が始まります。平安時代には御霊信仰がありました。平安時代初期の869年に京の町では疫病が大流行し御霊の怒りを鎮めるために、当時の国の数にちなんだ66本の鉦を神泉苑に立て祇園の神を祀り、さらに祇園社(現:八坂神社)の神輿を担いで疫病退散を祈った「祇園御霊会」が祇園祭の起源だと言われています。11世紀になると現在のシンボルである山鉦が登場し、南北朝時代には益々華麗となっていき、現在の「祇園祭」へと受け継がれているとのことです。



学生時代の私は、あまり祇園祭に興味はなかったのですが、妻に案内されて訪れたある旧家で拝見した数々の伝統ある豪華な展示品や、祇園祭を支えてこられた京の町衆の皆様の脈々と受け継がれる心意気に、ある種の衝撃的な感動を覚えたことを今も記憶しています。「京都」は格式高い古い伝統をもつ世界有数の文化都市ですが、これを守っていく人々の絶え間ない努力と新しいものをも受け入れていく寛容さを併せ持つ不思議な町であると感じています。私も好きな鉦や山があり、今年も祇園囃子に誘われて鉦町を散策したいと思っています。

さて、5月1日からは病院名が「京都中部総合医療センター」に変更されました。除幕式の際にはお忙しい中、御臨席賜りました多くの方々にこの場をお借りして心からの御礼を申し上げます。今後は医師・看護師・助産師などの人材不足を少しでも早く解決し、医療圏の病院・診療所の先生方、在宅・介護に携わる医療関係者の方々と「顔の見える関係作り」を推し進め、地域連携・協調をさらに促進させていく努力を行っていきたいと考えています。現に、最近では「総合医療センター」として、地域の医療機関からより高い次元の要請が増えているとの現場の声を聴いています。

京都中部総合医療センターは公立南丹病院から数えて80年以上の歴史と伝統を持つ病院です。この良き伝統を守りながら、固定観念にとらわれず、さらに進化と発展を遂げるためには、職員各々の地域医療を支える心意気と絶え間ない努力が必要です。職員が医療人としての誇りと責任を持って最善を尽くせば、必ず新しく船出した病院がもつブランドも皆様に信頼され定着していくと信じています。

4月から新しいスタッフも増え、京都中部総合医療センターは今後も一層信頼される病院づくりに向けて、職員全員が責任と自覚を持ち、



地域住民の皆様に益々貢献できる病院になるように頑張ります。今後とも皆様の御協力と御支援を賜りますようお願い致します。皆様の夏が今年も楽しいものでありますようにお祈りしております。

「祇園祭」の「祇」の文字は、パソコンのシステム上「示」偏で表記される場合がありますが、伝統的には「祇」=「ネ偏」が用いられて来ました(京都市観光協会HPより)。京阪電車の「祇園四条駅」の「祇」も「示」でなく「ネ」で、旧字体の「示偏」を採用しています。「示」は同じでも、つくりの方が「氏」ではなく、「氏」の下に、1本「一」(横棒)が引っ張られた字である「祇園」がパソコンなどでは誤変換されるようですが、これは「シ」と読み別の漢字です。(註釈：広報委員会)

平成28年度患者満足度調査アンケート

副看護部長・業務改善委員会 ふじさか みさよ 藤阪 みさ代

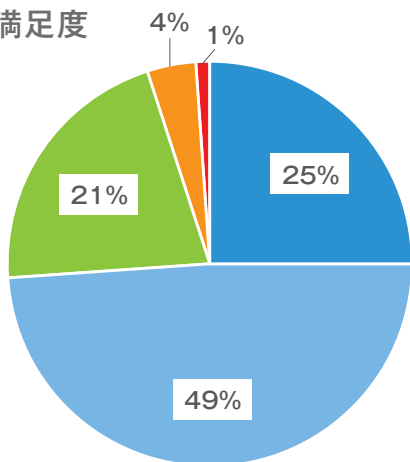
当院では、地域住民の皆さんに親しまれ信頼していただける病院を目指して日々取り組んでおります。その取り組みの一環として、病院スタッフの接遇や医療環境などに対するご要望をお聞きし、更なるサービスの向上につなげるため「患者満足度調査」を定期的を実施しています。

アンケート配布・回収結果

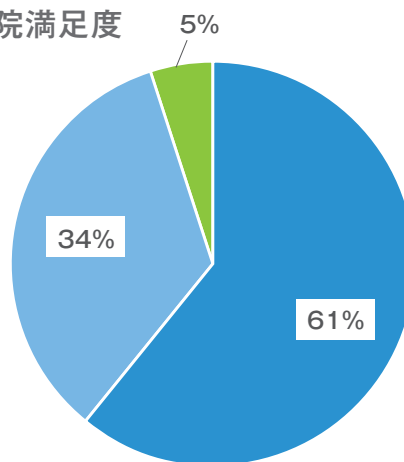
調査期間 平成29年2月20日(月)～平成29年2月24日(金)

	配布枚数	回収枚数	有効回答数
外 来	1,000枚	703枚	593枚
入 院	100枚	67枚	59名

外来満足度



入院満足度



■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満

アンケート結果

全体の満足度は入院では、「満足・やや満足」に95%評価をいただいておりますが、昨年度より1%下がった結果となりました。外来については「満足・やや満足」が79%であり昨年度より3%の上昇となっています。アンケート内容からは、サービス面では診察までの待ち時間、施設面ではトイレ関連について厳しいご意見をいただきました。この結果を十分にふまえ、これからの病院の診療体制やサービス面などの更なる改善につなげてまいります。

患者さんご家族の皆さん、お忙しいところアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

今回の調査結果を各部門・全職員で共有し、当院の基本理念にありますように、患者さん中心の良質な医療、地域に信頼される病院となるよう日々努力をしております。

がん診療の取り組み「81年目の初心」

副院長・外科部長 やまおか のぶ き 山岡 延樹



当院の設立は、昭和のはじめ口丹波地域の十分とはいえない医療状況の改善を地域住民が嘆願したことに始まります。その願いが成就し京都府から設立を許され、昭和11年わずか30床の南丹病院がついに開設されました。念願の病院開設から今年で81年の歳月が経過したこととなります。病院名称の変更にあたり、私達はふたたび当院設立の精神に立ち返り「地域医療への誠実な貢献」を「81年目の初心」として心に刻みたいと思います。

当院は南丹医療圏で唯一の「地域がん診療病院」に指定されています。この地域でのがん診療の中核となることを使命とされています。「がん」は、「2人に1人がかかる日常的な病気」と言われ始めてからもう久しくなりました。病気になるとそれまでの日常が変わってしまいます。ほかの病気よりも「がん」と告げられたときの変化は大きいでしょう。

まず、何より不安です。いつも頭のどこかに引っかかり、気持ちが晴れません。手術を受けることはやっぱり怖いものです。医者は大丈夫と言いますが合併症の説明もします。抗がん剤・放射線治療も効果が期待できますが、副作用もあります。時間も制約されることとなります。予約検査が必要になったり、医者との面談に都合をつけたり、決まっていた仕事や家事の予定の変更も要ります。通院だけでなく治療のために入院という長い時間の束縛を受けます。今やありふれた病気「がん」ですが、かかった方にとっては、これまでの日常とこれからの予定が大きく変わる一生の一大事です。私たちは皆さんに一大事が起こっていることを知っています。不安なことも大変なことも知っているつもりです。だから、何とか「がん」を治したい、何とか大切な命をつなぎ留めたい、何とか苦痛を和らげたい。「81年目の初心」です。これからもどうぞよろしく申し上げます。

がん相談支援センター

緩和ケア認定看護師 うすい ひろ こ 碓井 寛子

がん相談支援センターでは、患者さんやご家族のほか地域の方々の「がん」に関するさまざまな疑問や悩みが少しでも和らぐように、「がん」に関する情報を提供したり、療養生活のこと、治療費のことなど「がん」に関する質問や相談をお受けしています。他の病院で診療を受けておられる方もご利用いただけます。相談は無料です。

がん専門相談員が電話あるいは面談室で直接お会いしてお話を伺い、一緒に考え問題の解決に向けてお手伝いをいたします。相談した内容が他者に知られてしまうのではないかとご心配があるかもしれません。しかし、ご相談いただいた内容が相談者の同意なしに担当医や第三者に知られることはありません。どうぞ安心してお気軽にご相談ください。



〈相談方法〉

- ①電話相談の場合………相談時間内に電話でご相談ください
- ②面談にて相談の場合………電話で相談時間を予約後、予約日時にお越しいただき面談室にてお話を伺います

〈相談日時〉

月～金(年末年始・祝日を除く) 9時～16時

〈お問い合わせ先〉

京都中部総合医療センター がん相談支援センター TEL 0771-42-2510 (代)

ご相談の例

- ・ 治療費や今後の生活が心配
- ・ 「がん」の治療方法や情報がほしい
- ・ セカンドオピニオンについて詳しく知りたい
- ・ 今の不安を聞いてほしい
- ・ 緩和ケア病棟について知りたい
- ・ 家族としてどう対応すればいいか知りたい
- ・ 医師から治療の説明を受けたが、十分に理解ができない
- ・ 医師に聞きたいこと、言いたいことが言えずに悩んでいる

薬剤部の役割

薬剤部副部長・がん薬物療法認定薬剤師 はせがわ こうじ
長谷川 晃司

薬剤管理指導

通院治療室で注射治療を受けておられる方には、3名の薬剤師(がん薬物療法認定薬剤師、外来がん治療認定薬剤師他)が、入院しておられる方には病棟専任薬剤師が治療スケジュール、副作用やその対処方法などの説明といった薬剤管理指導を行います。さらに、副作用の管理や観察によって、必要があれば主治医へ報告し、投与量の調整や支持療法の追加、変更などの提案も行います。

緩和・栄養・感染対策チームへの参画

他職種と協同して、疼痛や栄養状態の評価、抗生剤の使用状況の報告、薬剤の選択・用量の設定についての助言などを行います。

薬薬情報共有レポートによる薬薬連携

地域の保険薬局と当薬剤部で情報を共有し、保険薬局での適切な処方鑑査や副作用の聴き取り、説明・指導などができるような取り組みをしています。また、その情報を医師に提供し、診療の助力となるようにしています。

注射薬の調製

全ての注射抗がん剤は、抗がん剤調製鑑査システムを用いて正しい薬剤が、正しい投与用量となるよう薬剤師が調製しています。また、調製だけでなく投与量が適正であることを現在の体重や検査値等で確認し、問題があれば処方医に連絡し変更を行います。

レジメンの管理およびメンテナンス

レジメンとは、投与する薬剤・量・期間・手順等を時系列で示した計画書をいいます。注射薬抗がん剤は電子カルテに登録されたレジメンを使用して処方されますが、当院で使用されるレジメンは、全て化学療法運営委員会で妥当性の審査を受けています。薬剤部では審査にあたり提出される資料の医学的根拠や申請内容と合致しているかなどを確認し、審査後は電子カルテへの登録およびメンテナンスを行います。

定期的に勉強会や研修会を開くなどして、患者さんに安心、安全に治療を受けていただけるよう日々研鑽しております。

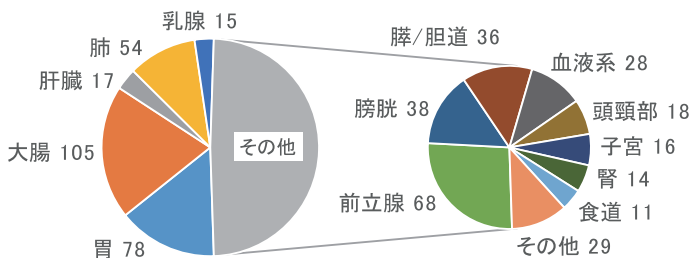
がん登録とは

診療情報管理士・がん登録担当 うえはら かおり
上原 香保里

がん登録は、がんの診断、治療などの情報を登録・分析することを目的としています。例えば「毎年がんと診断される人はどのくらいいるんだろう」という疑問に対する回答はがん登録情報から導き出されます。

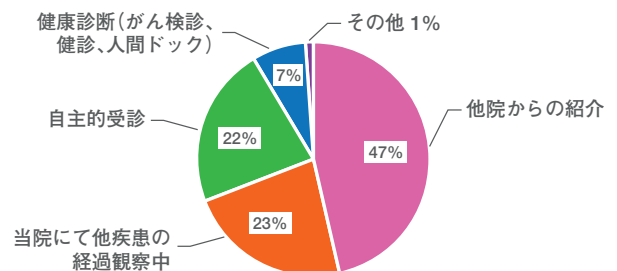
がん登録には「全国がん登録」「院内がん登録」「地域がん登録」などデータを収集する機関や目的等によって種類がありますが、今回は「院内がん登録」のデータを抽出してみました。院内がん登録は各病院においてがん診療の状況を把握するためにがん診療連携拠点病院を中心に行われており、地域がん診療病院である当院も実施しております。

2015年部位別登録件数



当院では毎年500件以上のがんを新たに診断・治療し院内がん登録情報として登録しています。2015年症例を5大癌といわれている「胃」「大腸」「肝臓」「肺」「乳腺」と「その他」に分けてみました。やはり5大癌が過半数を占めています。その他の内訳をみると泌尿器系のがんも多く登録されています。

がん診断・治療のため当院を受診されたきっかけ



患者さんが当院を受診されたきっかけをみると紹介患者さんが約半数、「自主的受診」は自覚症状を伴って当院を受診された患者さんのことで約2割となっています。他にも診断・治療情報を登録し、集計・分析を行うことでがん診療の発展につなげております。

褥瘡対策チームの紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師 なかにし さとみ 中西 智美



褥瘡とは、いわゆる「床ずれ」のことです。自分の力で動くことができない寝たきりの状態や長時間座ったままの状態でも過ごすことにより、同じ部位が圧迫され皮膚の血流が悪くなることで褥瘡が発生します。褥瘡の治療は、傷自体の治療はもちろんですが、基礎疾患や日常生活の活動性・栄養状態など様々な方面からの治療が必要となり、一度発生すると治りにくくなることがあります。そのため、予防が大切になります。

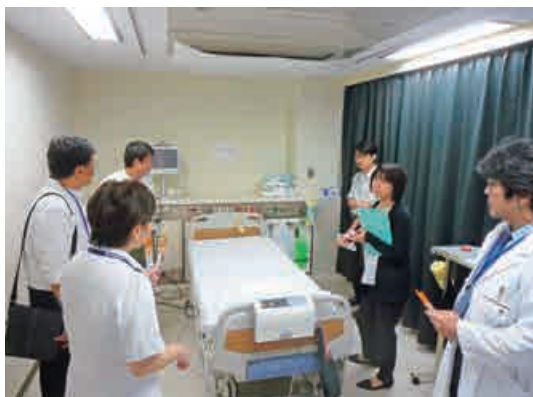
当院の褥瘡対策チームは、皮膚科医、外科医、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、皮膚・排泄ケア認定看護師で構成されており、入院患者さんに対して、褥瘡発生の予防、褥瘡の早期治癒を目的として活動しています。

主な活動は、褥瘡を保有されている患者さんの回診を毎週1回実施し、また褥瘡対策委員会と症例検討会をそれぞれ月1回開催し、その月の患者報告や事例検討・勉強会を行い、現状の把握・分析・対策の検討や知識の向上に努めています。



感染防止対策チーム (ICT) の紹介

感染管理認定看護師 うえだ たかこ 上田 多加子



院内感染防止策は、感染防止対策のチーム活動と医療機関同士の連携や相互の評価を行うことが求められており、当院でも感染に関する専門的知識と経験を有する医師、看護師、薬剤師と臨床検査技師の4職種がチームを結成し、南丹医療圏の感染対策を推進する活動を行っています。

この活動は今年で5年目をむかえ、地域の医療機関4施設の感染対策チームと年4回の合同カンファレンスを開催し、感染症流行情報や感染対策の方法、抗生物質の使用状況や耐性菌検出情報などを共有し、感染防止対策のレベルアップを図っています。

インフルエンザ流行対策においては、各医療機関で面会制限の実施や面会者のマスク着用、濃厚接触者に対するタミフル®の予防投与などに早期から取り組み集団感染の防止を図りました。今季の流行は、これらの取り組みとともに地域の皆様のご理解とご協力のもとに集団感染を最小限にとどめることができたと考えます。私たちは連携活動を継続し、地域の感染対策の更なる充実を図りたいと考えています。



地域で学ぶ「京都中部広域消防実習」

教員 M.M.



公立南丹看護専門学校では「臨床応用看護論実習」として、地域を支える他職種と連携・協働し、チーム医療の中で看護の役割を果たしていくことの必要性について学ぶことを目的とし、京都中部広域消防組合で実習させていただいています。本実習で、様々な組織の中で遂行される安全な医療の提供、暮らしを守るための包括的な取り組みを学ぶことで、看護師として幅広い視野をもち看護活動が展開できると考えています。今後も地域の皆様には看護教育の一環とし救急搬送時、看護学生の同乗にご理解とご協力をお願いいたします。

「1日研修」で学んだこと

公立南丹看護専門学校1年生 S.R.



1日研修で受けた講義「ホスピタリティとサービス」の中で特に印象に残ったことは、声に表情をつけるということです。声に表情をつけるとはどういうことだろうと難しく考えていました。これは、TPOに配慮しながら声のボリュームや速さに気を配るということでした。このような気づかみや、心添えをすることで、相手にもその気持ちが伝わってより良い関係を築いていけるのだと思いました。反対に気持ちがこもってなければ、それは相手にも伝わってしまうということであり、挨拶のときや返事のときの声から表情をつけることを意識していきたいと思いました。

働き始めて

臨床現場で働いてみて



研修医 ^{そうま ともみ} 相馬 友美

6年間の長い学生生活が終わり、医師として患者さんの役に立とうと初めは意気込んでいましたが、実際に臨床の現場に出てみると何も出来ない自分の未熟さを思い知る数ヶ月でした。そんな何も分からず戸惑っている

私に当院の先生方は丁寧に指導してくださいました。

ただ答えを教えるのではなく、疑問を持つ・考える力を教えてくださいました。患者さんや疾患について勉強することで疑問を持ち、疑問を持つことで診断や治療方針を考えられることの大切さを改めて知ることが出来ました。最初は自分の未熟さに落ち込むことばかりでしたが、今は疑問を持って考えることに楽しさを感じるようになりました。また、先生方や看護師さんが丁寧に教えて下さるおかげで仕事も少しずつ出来るが増えてきました。今はまだ出来ないことの方が多いですが、医師として患者さんの役に立てるように2年間の研修期間で様々なことを吸収し、精進していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

患者さんから信頼される薬剤師になりたい



薬剤師 ^{さかもと あけみ} 坂本 朱美

入職したての頃は、薬剤師の肩書きを背負う責任の重さにとっても不安になった思いがありました。あれから早3ヶ月が経ちましたが、日々の経験が積み重なることで、不安が少しずつ取り除かれていくと同時に、医療者としての

自覚を意識するようになりました。

始めの3ヶ月間は計数調剤、注射の調製をさせていただき、学んだことをふり返り、知識の定着に取り組みました。その中でも処方解析や注射の配合変化には特に苦戦し、自分の知識不足を痛感することも多々ありましたが、毎日の業務経験と学習により、着実に成長したのを実感した時は、とても嬉しかったです。

当院の薬剤部では病棟業務を積極的に行っており、入院時の服薬指導、処方提案等を行っています。7月からは病棟に配属されるので、患者さんの状態に適した薬物治療が提供できる知識を身につけ、患者さんから信頼される薬剤師になれるよう、精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

現場で信頼される臨床工学技士になりたい



臨床工学技士 ^{こばやし ふみ} 小林 富美

私は医療人として、社会人としての責任と行動を日々先輩方から教えていただいています。臨床現場は患者さんを守るのは勿論のこと、自分の身を守り、常に安全という

ことに気を付けて行動しなければなりません。また、イレギュラーなこともたくさん起こるため臨機応変な対応も求められます。

そういった行動や対応をするためには、今までの机上の知識のみならず先輩方の行動を見て体を使って知識を得ていくことも大切であると考えています。初めてのことも臆せず挑戦し、しっかりと一つひとつ仕事を覚えていき現場で頼りにされる医療人になりたいと思っています。毎日の仕事は慣れない作業も多く、戸惑うこともあります。少しずつでもできることが増えてきて、患者さんにも顔を覚えていただき嬉しいことも増えてきました。先輩や患者さんとの信頼関係を確実に築いていき、良い環境で患者さんに安心して治療を受けていただけるように精一杯努力していきます。

スムーズな医療連携を支えられるように



地域医療連携室 ^{つじた しずか} 辻田 静香

想像していた以上に業務の幅が広く、また自分自身の知識不足を痛感しておりますが、学びながら充実した日々を過ごしています。

業務の中では、他の医療機関の方や院内の他部門の方と連絡を取る中で、多くの方の協力があって診療が成り立っていることを改めて実感し、そして自分もその一員であるという責任を大きく感じるようになりました。

また、他の医療機関より紹介で来られた予約患者さんは、各診療科までご案内していますが、診察前で不安な表情をされている方でも、お声かけをすると少し表情が和らぎ「ありがとう」という言葉をいただくことがあります。微力ながらお役に立ててよかったという気持ちが仕事の励みになります。

まだまだ未熟でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、スムーズで丁寧な対応を心がけ、患者さんのサポートができるように精一杯努力して参りますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

看護師として働き始めて

第二病棟3階西病棟

あみじま たくみ 網島 拓巳 うえだ ひかる 上田 輝 たけもと あやか 武本 彩花 まえはし みさと 前橋 美里 やぎ つかさ 八木 司

この4月から第二病棟3階西で看護師として働き始めました。右も左も分からない状況でしたが、毎日のシャドーイング*や受け持ち患者さんとの関わり、先輩方のご指導から少しずつわかることも増え、看護師としての自覚と喜びを感じています。しかし、看護師として働くということの責任や、学生時代との違いがあり、まだまだ分からないことだらけで不安のほうが多いのが現状です。そんな中でも、同期の仲間たちで支えあい一緒に経験を積みながら毎日を過ごしています。

今では、複数の患者さんを受け持たせていただき、看護ケアや記録で精一杯な状況ですが、一人ひとりの患者さんと向き合い、患者さんに寄り添うことを忘れずに看護をしていきたいと思えます。まだまだ必要な知識、技術が伴っておらずご迷惑をおかけすることもあり、自分の力不足を感じることもばかりですが、患者さんとの関わりの中で「ありがとう」という言葉をかけていただけることが自分たちの励みになっています。

これからも分からないことを一つひとつ分かるように積極的な姿勢で取り組み、先輩看護師のように、立派な看護師として働いていけるよう日々精進していきたいと思えます。

*シャドーイング：先輩看護師と一緒に業務を行うこと



看護職就職・就学合同フェア2017に参加して

副看護部長 ^{ますたに てるよ} 増谷 照代

平成29年4月29日(土) 京都府看護協会主催の「看護職就職・就学合同フェア2017」が京都市勧業館みやこめっせで開催されました。内容は就職説明(48施設)、進学説明(20校)の他に国試対策セミナー・体験コーナー・看護のしごと相談コーナー、施設・訪問看護相談コーナーもあり、高校生や看護学生の他に再就職希望者などの来場がありました。

当院は5月より京都中部総合医療センターへと名称変更いたしました。南丹医療圏の中心的役割を担っており、最終拠点病院として急性期医療から在宅、また予防医療に至るまで果たすべき役割は非常に大きくなっています。超高齢化社会を迎え、地域包括ケアシステムの構築に向けて、多くの医療機関との連携が重要となっていますが、看護師不足により病棟閉鎖が持続している状況です。看護部では地域の皆様に安全・安楽な看護の提供ができるよう、継続的な教育を行い、日々質の高い看護の提供ができるよう努力しております。専門分野のエキスパートである認定看護師の育成も行っており、病院だけでなく近辺地域でも活躍しています。質の高い地域医療を継続していくためには多くの看護職の力が必要です。

当院は一人ひとりの職員が働きやすい職場となるよう、ワークライフバランス制度も充実しております。一緒に地域医療を支えてくれる仲間を募集しています。病院見学・体験など随時行っています。

お気軽に総務課人事係までご連絡下さい。お待ちしております。



近隣の連携医療機関の先生方

『自分にできること』

やまざき眼科園部クリニック
院長 やまざき たいぞう 山崎 太三

平成25年5月に南丹市園部町で、「眼科のかかりつけ医」を目指して開院させていただきました。今日まで多くの方々に支えていただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

貴院は開業前の3年間勤務させていただいた思い出深い病院です。広範な医療圏をカバーし、遠方から通院される方が多くおられる現状を目の当たりにしました。私にとっては、「自分にできること」を深く考えるきっかけをいただいた大切な場所です。

よく知っている医師、看護師、職員の方々が現在でもたくさんおられます。いつもお世話になっている眼科に限らず、他の診療科の先生方もとも地区医師会の行事などでお会いする機会があります。そういった「顔の見える」病院に安心して連携できることは、当院の強みとなっております。大変ありがたく思っております。

貴院の新しい病院名には、「急性期から回復期、在宅支援まで総合的な機能を有する拠点病院として地域医療圏を支えていく」という強い覚悟が表されていると思います。

当院もメガネ、コンタクトレンズ処方から白内障、ドライアイ、緑内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、眼瞼下垂まで様々な眼科疾患に対応できる設備を整えております。微力ではありますが「自分にできること」をわきまえ、日帰り手術を軸として地域医療へ貢献できるよう全身全霊を捧げる所存です。今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



『京都中部総合医療センターに期待』

浦田歯科医院
院長 うらた まさき 浦田 眞幸

昭和33年に父が亀岡市余部町の国道9号線沿いで開院し、又、私が昭和59年に亀岡市河原町で開院して33年が経ちました。9年前からは3代目となる娘と一緒に微力ではありますが地域歯科医療に貢献すべく日々研鑽を重ねています。

開院当初、特に夏休みともなると、子どものむし歯治療に忙殺され、成人に対してはなかなか満足できる治療ができませんでした。しかし、20数年前より南丹地域で幼稚園・保育園・小学校・中学校(亀岡市では全18小学校と公立幼稚園)で導入された「フッ化物洗口」により、年々むし歯が減少し、今ではむし歯治療のみに追われることなく、落ち着いて小児から高齢者までむし歯や歯周病の予防に力を入れた診療を行っています。

京都中部総合医療センターの歯科口腔外科には旧公立南丹病院時代より永きにわたり大変お世話になっています。近年高齢化に伴い、歯科の外科的処置に注意が必要な患者さんが増加しています。また、難抜歯や口腔領域の悪性腫瘍等一般開業医では対応出来ない症例にも対応していただき感謝をしています。今後ともよろしくお願いいたします。

本年5月より、病院の名称を80年来慣れ親しんだ公立南丹病院から京都中部総合医療センターに変更されました。名称から病院の位置が分かりやすくなり、また何よりも近代的な名称だと思います。

新名称の効果で、医師・看護師不足が解消され、南丹医療圏の中核病院として益々の発展を期待しています。



熱中症予防と暑さ指数 (WBGT) の豆知識

外科・小児外科・外科系救急部長・産業医 いわた じょうじ 岩田 譲司

今年の夏は高気圧の勢力が強く、例年以上に晴れの日が多いため猛暑となりそうです。高気圧の勢力に加え、地球温暖化の影響でベースとなる温度が平年より高いまま推移するため、最高気温が更新されるかもしれません。昨年は大阪で8月の猛暑日が23日と過去最多となり、高知県の四万十市で国内最高気温となる41℃を記録しました。いずれにせよ我々は自然の猛威にはかないません。

猛暑といえば、毎年問題となるのが熱中症です。ご存知のように熱中症とは、高温多湿な環境に、私たちの身体が適応できないことで生じるさまざまな症状の総称です。熱中症を発症していることに気付かないまま対処が遅れると、命に関わることもあります。適切な応急処置を行えば、重症にならずにすむ場合が多いので今回は熱中症対策とWBGTという概念についてご紹介します。

熱中症は大きく4つのタイプに分けられ、それぞれ症状と初期の対処法が異なります。

① 熱失神

めまいや冷汗、一時的な失神がみられる場合は、脳の血流が不足している状態です。

➡ 足を頭より高くし、涼しい場所で休ませます。

② 熱痙攣

大量に汗をかいた後に塩分を含まない水だけを飲むと手足の痙攣や筋肉痛が生じる場合があります。

➡ スポーツ飲料などを補給して下さい。

③ 熱疲労

全身の倦怠感や嘔吐、頭痛がみられたら、発汗に伴う重症の脱水症状を起こしている可能性があります。

➡ スポーツ飲料を補給し、脳に血流を保つため、熱失神と同様に足を頭より高く上げましょう。

④ 熱射病

体温が高く、意識障害や異常行動がみられる場合は、命の危険がある重症熱中症です。

➡ 体温調節ができなくなっているため、一早く体温を下げる必要があります。直ちに救急車を呼んで医療機関を受診して下さい。

暑さ指数 (WBGT: Wet Bulb Globe Temperature) とは、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。人体と外気との熱のやりとり (熱収支) に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射など周辺の熱環境、③気温の3つの要素を取り入れ、単位は℃で示されますが、その値は気温とは異なります。

不特定多数の参加者が見込まれる市民マラソンやトライアスロンなどのスポーツ大会などでは、WBGTを測定する必要があります。今年も第3回目となる「京都丹波トライアスロン大会in南丹」が8月下旬に開催されます。当院からも救護班としてスタッフが参加しますが、少しでも記録を伸ばそうと頑張っている選手の皆さんに対して、熱中症に陥らないためにもWBGTを把握して適切な予防とアドバイスを提供していきたいと思えます。

市民マラソンのための指針

暑さ指数(WBGT)	危険度	警告
28℃～	きわめて高い	ペースを十分落としても不快が起こる。競技を行ってはならない
23～28℃	高い	ペースダウン トレーニング不足のものは中止
18～22℃	中程度	熱中症の徴候に注意し必要ならペースダウン
～18℃	低い	熱中症は起こりうるので注意が必要

(Hughson,1983)

救急診療について

当院では、24時間体制で救急患者さんの受け入れを行っております。救急告示病院として南丹医療圏における救急医療および急性期医療の拠点を担うため、緊急の処置や手術にも対応できる体制を整え、日々診療にあたっています。

救急外来ではその性質上「緊急度」が優先されます。全ての患者さんに対して「院内トリアージ」を行い、救急車ではなく自力で来られた患者さんでも、緊急度の高い方は速やかに診察させていただくなど効果を発揮しています。

このため救急外来では、受付の順番と診察が前後したり、お待たせする場合がありますが、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



救急外来のお問い合わせ先
0771-42-2510(代)
 365日 24時間対応

平成29年度 オープンキャンパス・学校見学会のお知らせ

公立南丹看護専門学校では、看護師を目指す人々に看護学校について、知っていただくことを目的とし、オープンキャンパス・学校見学会を行っております。

●オープンキャンパス

日 時：平成29年8月10日(木) 13:00～16:00 (申込受付 平成29年8月1日(火) 17時まで)

内 容：学校紹介・学校内見学・体験学習・在校生との交流・個別相談など

*申込人数により募集締切日までに募集を終了する場合がございます。ご了承ください。

●学校見学会

日 時：平成29年9月2日(土) 10:00～11:00 (申込受付 平成29年8月25日(金) 17時まで)

平成29年10月28日(土) 10:00～11:00 (申込受付 平成29年10月20日(金) 17時まで)

内 容：学校紹介・学校内見学・個別相談など

〈申込について〉

①電話またはホームページで次の事項を申し込んでください。

・氏名 ・学校名(在学校or社会人) ・連絡先(TEL)

②同伴される保護者がおられましたらお知らせ下さい。

(保護者の方は、体験学習には参加できません。)

受付は30分前より行います。駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

〒629-0196 京都府南丹市八木町南広瀬上野3番地1

公立南丹看護専門学校

お問い合わせ：TEL 0771-42-5364 / FAX 0771-42-5422

<http://www.nantan-kango.ac.jp>



看護師・助産師募集 (正職員・臨時職員)

正職員・臨時職員共に院内保育所の利用ができます。

看護師寮(正職員のみ)の利用も可能です。(月額10,480円)

〒629-0197

京都府南丹市八木町八木上野25番地

京都中部総合医療センター 総務課人事係

TEL 0771-42-2510(代)まで

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.kyoto-chubumedc.or.jp>



編集後記

今年度から広報委員となり、今まで何気なく読んでいた広報誌ですが、出来上がるまでにたくさんの方々が携わっていることを知りました。構成を考え、文章を寄稿して下さる方がいて、編集や誤字脱字の確認などの段階を経て皆様の手元に届いております。皆様が少しでも読みやすいように細かいところまでこだわり、作り上げています。

これからも病院の情報を発信していきますので、隅々まで目を通していただければ幸いです。

広報委員 M.I.

